

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【潮見小学校】

<第2学年：ぐんぐんそだて わたしのやさい>

生活科で、野菜を育てる活動を行った。5月に始めた一人一鉢栽培では、自分が育てたい野菜の苗を家から持ってきて植えた。毎日水やりや観察を行い、どの子も野菜を収穫することができた。学年園では、ミニトマトやキュウリ、ピーマンに加えて、ナスやスイカ、トウモロコシ、サツマイモの栽培に取り組んだ。夏は土がすぐに乾くので、朝と下校前の1日2回水やりをするなど大切に世話をした。収穫した野菜は、子どもたちが家に持ち帰った。自分で育てた野菜は格別においしく、「苦手だけど食べたらいしかった。」と伝えに来る子どももいた。

7月には、栄養教諭による食育も実施した。夏野菜には、水分補給や疲労回復などの働きがあることを知り、「あつい夏にぴったりのやさいが分かった。」「やさいってすごい。すすんで食べたいな。」との発言が見られた。



【一人一鉢の水やり】



【サツマイモ掘り】

<第4学年：潮見のやさしさたんけん隊>

身近にあるバリアフリーやユニバーサルデザインに目を向け、調べ学習や体験を通して、多様な立場の人と共に生きるために自分ができることを考えた。

総合的な学習の時間での目の不自由な方との交流では、盲導犬との生活の様子について話を聞いたり、点字やガイドヘルプの体験をしたりした。耳の不自由な方との交流では、手話を教えていただき、自分の名前や挨拶などを手話で伝え合う体験をした。高齢者体験では、体におもりを付けて段差のある所を歩いたり、腰が曲がった状態で洗濯物を干したりした。これらの活動を通して、様々な立場の方の生活について実感をもって理解することができた。学習のまとめとして、身近なところで自分たちにできることを考え「福祉宣言」を作成した。



【白杖での歩行体験】



【高齢者体験】